

平成28年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成28年7月27日（水）午前10時から午前12時 富山市役所研修室
委員 (委員数5名) 出席4名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 猿田淳子（税理士）
欠席1名	委員 彼谷環（富山国際大学教授）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成27年10月1日から平成28年3月31日まで
抽出工事 (落札率)	10件（対象工事件数274件） ① 一般競争入札（4件） ・芝園中学校武道天井改修工事（88.81%） ・神通大橋（上流側）橋面補修工事（89.36%） ・富山市公共下水道松川第二排水区旅籠町地区磯部雨水幹線築造（第2工区）工事（99.52%） ・上水道館出町二丁目地区舗装復旧工事（95.89%） ② 指名競争入札（5件） ・市道水橋伊勢屋肘崎線改良（第2工区）工事（81.99%） ・都市基盤河川宮路川改修（第18工区）工事（98.67%） ・富山駅南第一自転車駐車場昇降機設置工事（88.65%） ・グリーンパレス外壁等改修工事（89.44%） ・富山特定環境保全公共下水道月岡処理分区月見町七丁目地区下水管改築（その1）工事（79.22%） ③ 随意契約（1件） ・都市計画道路下新西町上赤江線大島橋下部工付帯工事（98.54%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成27年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
①「神通大橋（上流側）橋面補修工事」において、総合評価落札方式にしたのはなぜか。	①神通大橋は非常に交通量が多く、高い技術が求められる工事であったため、総合評価落札方式とした。
②最近、降雪量も少ないが、総合評価落札方式における除雪協力の点数の見直しをしていくことはあるのか。	②降雪量は少ないが、除雪の出動準備等、協力いただいている部分は大きく、今のところ点数の見直しは考えていない。
③「芝園中学校武道天井改修工事」における低入札価格調査書について、「車で10分と近距離にあるため時間と経費を節減できる」とあるが、これが予定価格の何%分の節減につながったのか。	③低入札価格調査では業者に作成いただいた入札価格調査票を基にヒアリングを行っている。節減できた理由は、この他にもあり、企業努力によって様々な経費を削減したことで、全体の節減につながったものである。
④「富山特定環境保全公共下水道月岡処理分区月見町七丁目地区下水管改築（その1）工事」の落札金額が絶対基準価格に非常に近く、その他の入札者との価格差は大きいですが、この工事は入札価格に幅の出るものだったのか。	④工事の内容は、マンホールの蓋を取り替える工事であった。蓋は自社で製造するのではなく、メーカーから仕入れて、取り替える工事であった。（蓋の仕入値が入札価格に大きく影響する。）
⑤「富山駅南第一自転車駐車場昇降機設置工事」において、フジテック㈱が絶対的基準価格を下回って、失格となっているが、失格というのは価格だけで失格となるのか。ヒアリングなどは行わないのか。	⑤ヒアリングなどは行わず、価格だけの判断である。
⑥「市道水橋伊勢屋肘崎線改良（第2工区）工事」において、一者辞退しているが理由を教えてください。	⑥人員が配置できないことによるものであった。
⑦「都市計画道路下新西町上赤江線大島橋下部工付帯工事」について、見積書の価格が妥当かをどこで判断しているのか教えてください。	⑦予定価格をあらかじめ設定しており、この価格より低ければ、妥当と判断している。なお特命随意契約なので、この価格を業者へは通知していない。